



ペットボトル芝生育生ガイド（2011年版）

1. ペットボトル芝生の置き場所

（1）芽が出るまで

種まきをしたペットボトルは、芽が出るまでは日光に当てる必要はないので、室内に置いて乾かさないように管理して下さい。ストーブの温風があたるような場所は、乾燥しやすいので要注意。もし砂の表面が乾いてしまった時は、霧吹きなどで湿らせて下さい。

（2）芽が出てから

種まきから1週間～10日で芽が出はじめ、1日～2日間たち芽が出そろったら、昼間は日光に当てるようにします。屋外でもよいですが、朝晩は冷え込みが強いので日のあたる窓辺でも結構です。屋外の場合は、軒下やベランダといった直接雨がかからない場所のほうが良いです。

2. 水やり

（1）芽が出るまで

芽が出るまでの間は上に説明したように、室内で乾かさないように管理するだけで、特に水やりは必要ありません。

（2）芽が出てから

砂が乾いてきたら、ペットボトル芝生を置いたトレイに水を注いでペットボトルの底から給水するようにします。冬場は芝がたくさん水を必要としないので、さほど頻繁に水やりをする必要はありません。

3. 肥料の与え方

22日または29日に和泉小でPB芝生を作った時、砂に肥料を混ぜてありますので、しばらく肥料は必要ありません。2月中旬以降、芝の育ち具合を見ながら、ペットボトルを置いたトレイに水でうすめた液体肥料（ハイポネックスなど）や粒状の緩効性の肥料をいれます。あまり頻繁に多量の肥料を与えると、いわゆる「肥料やけ」を起こしますし、3月12日の提出日の前に育ちきってしまい、根詰まりを起こして弱ってきますので、葉の色や成長の速さをみながら調節して下さい。

4. 刈り込みについて

冬場はあまり成長が早くありませんが、葉が5cm以上に伸びたら、ペットボトルを横にして、刈った葉が中に入らないようにはさみで刈そろえて下さい。日当たりや肥料の具合にもよりますが屋外で育てた場合、提出日までには刈る回数は多くて3回程度でしょう。

（以上）